

おあしす



特定医療法人 **南山会**

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2023

4

第37巻4号
(通巻428号)

春の書道展

百花舞う



四季の花

最優秀賞

「私の好きなもの、こと」をテーマに「春の書道展」が開催されました。応募総数48作品の中から最優秀賞2作品を当院書道プログラム講師であられる貴香書道教室土屋先生が、選んでくださいました。選ばれたのは、「百花舞う」リハビリテーションセンターの、雅号要さんと「四季の花」クレル病棟 長沼さんのお二人の作品です。



—— 峡西病院の理念 ——

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

法人委員会紹介 レクリエーション行事委員会

関西病院では、季節や時期に合わせた催し（行事）を定期的に開催しております。その企画と運営を担当している部門が当委員会となります。当委員会のメンバーは、入院病棟のグループより各1名、医療相談グループより1名、作業療法・理学療法グループ1名、リハビリテーションセンターグループから1名であり、多職種計7名によって構成されております。病院行事が安全かつ有意義に行われ、療養生活に潤いをもたらす、暮らしの豊かさを感じていただけるよう、各委員が知恵を出し合い、工夫を重ねながら、期待される使命を果たすことに努めております。

今年度、当法人の理念が「その人らしさをともに創造する」へ変わりました。当委員会においても、その人らしさを形作る一つである「やりがい」を創出するため、また「その人らしさ」を本人自身や周りの方が感じとる機会を増やしていくため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。ここではそのいくつかをご紹介します。

まずは2022年4月「私のできること展」を開催いたしました。創作ジャンルは問わず、応募者自作の作品展示会を行いました。イベントの特長は「私のできることを表現すること」「作品を「覧」になられた方が作者にメッセージを送ることができること」「賞選考がないこと」でした。

た。コロナ禍において希薄となりがちな他者との関係を、再び紡ぐ機会にもなったと考えております。また、自己表現する機会があることで、創作活動への気持ちを作るきっかけとなったと考えております。

次に、入院病棟の患者様からの希望を基に計画したリクエスト企画イベントを今年度2回実施しました。6月には「焼きそば会」、11月には「炭火会」を開催しました。療養生活において外食や会食の機会が減り、食の楽しみが限定的となっておりました。その中で、病院敷地内の芝生広場にてガスコンロを使い鉄板で調理した焼きそばを提供しました。炭火会ではバーベキューセットを使って焼きいも、焼き鳥などを提供しました。そして、9月には「のど自慢大会」を開催しました。開催会場と各病棟のテレビをオンラインでつなぎ大会の様子を配信しました。ハイブリッド開催が可能となり、歌い手と聴き手がお互いに安全で安心してライブ感を楽しむことができるイベントとなりました。「歌う表現者」の方々からは待望の機会でしたという声を頂戴しました。

価値観の多様性の尊重とともに、生活様式のさまざまな変化がある今こそ、当委員会の真価が問われていると感じています。

レク行事委員会 工藤伸治

高齢者プロジェクト

2年ほど前の2021年6月号の広報誌「おあしす」上でご紹介させていただきました当プロジェクトのご報告と今後の展望という形でご紹介いたします。

当プロジェクトは、関西病院・関西老人保健センターの職員を役員・資格を問わず幅広く委員として選出し、既存の「リスタート病棟」「関西老人保健センター」を建て替えるとしたら「どのような「コンセプト」で「どのような医療・介護」を提供し、「地域の中でどのような役割」を担っていくか・担っていきたいのかを検討してきました。

当初の予定としましては、①月1回程度で開催される右記の内容などを検討する会議と、②会議と並行して、地域に溶け込んでいける高齢者施設や認知症の方対応の施設など、先行事例のある事業所様を訪問させて頂き、法人としてどのような活動が出来るのか・出来ないのか、又は考え方から変えて再度アプローチしてみるのか、など判断材料となる施設見学の両輪でプロジェクトを進めていくことを検討しておりました。コロナ禍で施設見学を行えていないのが現状です。時間的な制約はありますが、今年度中に1度施設見学を実施したい

と考えております。

コンセプトを、「本人の希望とその人らしさ」を一緒に実現し、寄り添う仲間を増やすことを目指し、「今日から、ここから、よりよく「いきる」としました。このコンセプトのもと、個別性の高いケアやリハビリを提供し、地域貢献活動や、情報発信や啓発活動が出来るスペースがあれば良いのではないかと会議は進めております。

今年度以降は、設計業者様の選定や、建て替えの建築物の大きさや間取りなど具体的なことを決めて行くところまで進んでいきたいと考えております。

個別性の高いケアやリハビリが行える環境を作るにはどうすれば良いかなどを、設計業者さんに相談しながら詰めていくこととなります。

また、老健施設は国の施策で地域貢献活動を行う事も要請されており、「コミュニティ活動が行えるような多目的ルームを併せて設ける事が出来るのか」というような事も検討すべき項目となります。

令和の時代にあう建物が建築出来るよう引き続き検討を行ってまいります。

令和3年度 目標管理発表会



◇敢闘賞◇
リスタート病棟
樋口 陽子・深澤 文江

・入職するスタッフの看護経験年数がそれぞれ違うため、スタッフの経験にあわせた指導方法が必要だと感じた為。

活動内容

①ガイドラインの作成目的

・今まで既卒入職者の業務の進捗状況を、口頭で確認していたが、ガイドラインの作成をすることで経験した事、出来ている事、出来ていない事を明確にしていきたいと思った為。

・リスタート病棟での仕事内容を明確化する事で指導者、入職者双方が一年間で習得するべき内容、次に取り組むべき内容を把握できるようにしていきたい為。

②入職者看護技術チェックリスト作成目的

・入職者の看護経験年数や、看護技術の取得は個人差があり、それを把握し指導方針を検討する為。
・口頭で確認するより、文面で残っていた方がスタッフが周知しやすい為。

③グループ活動のマニュアル作成目的

・コロナ禍により、グループ活動の

・在り方に変化があった為。
・グループ活動時に実施することが、職員の中でも迷いがあつたり、把握できていないことがあつた為。

・グループ活動での話し合いをうまくカルテに反映出来ていない事があつた為。

・カルテに記載すべき項目をグループ活動に組み込みしつかりカルテに記入できるようにしていく為。
・入職者、異動職員にグループ活動の内容が理解できるマニュアルが必要だと感じた為。

④お看取り時の流れ(チェックリスト)の作成目的

・エンゼルケアの業者導入にて、職員が困らないように連絡方法や流れを把握できる体制が必要だと感じた為。

・患者様のお看取りや、ご逝去はスタッフの精神的負担が大きいため、チェックリストの作成によって負担の軽減が必要だと感じた。

・また、経験年数やお看取りの回数には職員によって大きな差があり、どの職員でも対応できる体制が必要だと感じた為。

結果

・年間活動内容に沿ったガイドラインの作成・グループ活動のマニュアル・看取り時のチェックリストの作成を行うことができた。

・ガイドラインの他に病院チェックリストを用いて説明を受けていないところや実践出来ていない箇所

・の把握をする事が出来た。
・日々の業務の中で声かけし不安点や経験していない事を聞き取り実践できるよう心掛けたが、フォローすることが出来ていない業務も残ってしまった。

まとめ

・グループ活動のマニュアルや、看取り時のチェックリストの作成を行なうことができたため今後の入職者や在籍中のスタッフに周知し、困ることがないよう活用していきたい。今後は、入職者に業務マニュアルを渡す際はこれらの内容全てを一つにまとめ、入職者がいつでも確認できるようファイル化していきたい。

・インテーク指導や長谷川式のマニュアル作成を行ないたかったが、実践する機会が少なく今後の課題にした。

・既卒者指導がなかなか実践できなかった。入院を受けたら面接に入る際は経験しているスタッフと一緒に入りやり方を見て覚えていくのが良いが、日々の業務に追われたり指導するスタッフや人数が少ないと経験していく事が厳しい現状があつた。

・入院受けは年内に行う事ができ、今後も早めに経験ができるよう調整していきたい。
・スタッフが困っている事は何か、不安に思っている事は何か常にアテンナを張り業務を遂行できるように今後も心掛けていきたい。

目標

既卒者入職にあたり、リスタート病棟に沿ったガイドラインや、技術、知識のチェックリストを作成し、安心して業務が遂行できるようにサポート体制を作っていく。

理由

・既卒者が入職してもガイドラインがなく、その時の流れで業務にあつたっておりサポート体制が整っていないがあつた為。
・指導する側も、段階を踏めることで一定した業務を遂行できると思つた為。

山梨県精神科病院協会 OT部会

山梨県精神科病院協会には、OTの部会もあります。研修会や施設見学なども実施していました。しかし、3年間は、新型コロナのため、メールやリモート会議で細々と活動しています。今年度最後は2月28日にリモートでの部会を開催しました。各病院からの近況報告では、やはり新型コロナの病院でのクラスターの話が多かったです。そして当院と同じように、OTはごみの収集や物品の調達を役割として行っていた病院や各スタッフが担当病棟へ入り病棟業務を応援した病院もありました。共通していたのは「職種を越えて助け合うことがとても大切だったこと」「クラスター終息後もその助け合った関係が良い形で残る事」などでした。コロナも色々な事を教えてください。

OT・PT だより

心理社会的治療 支援プログラムリニューアル

当院で行われている教育プログラム「心理社会的治療支援プログラム」を14年ぶりに改訂しました。病院の理念が変わったことも含め、疾患別で行われていたものから「リカバリー」に焦点を当てて作り直しました。

セッションは全部で9つ。「統合失調症とその治療」「うつ病とその治療」の2つは疾患別で残り、「リハビリ」「ストレス対処」は疾患問わず参加できる内容に変更しました。さらに新たに「身近な社会資源とリハビリテーションセンター見学ツアー」「SDMと職種紹介」「リカバリー概論」「リカバリーワーク」を昨年2月から徐々に追加し、ついに今年の2月に全セッションのリニューアルが完成しました。

参加者の中には、リハビリテーションセンターを利用するきっかけになった方もいます。また、今までのセッションを何回も聞いたことのある方でも、改訂したセッションに興味を持って参加してくれた方もいます。

参加者と一緒にスタッフも「望む暮らし」「自分らしさ」を学び、考える機会となっています。

精神科 デイケアだより

Q & A

Q リハビリテーションセンターを利用しながら、他の社会資源を利用することはできますか？

A リハセンターを利用している時間内に他の社会資源を使うことはできませんが、利用していない時間や曜日には、他の社会資源を利用することができます。実際に就労移行支援サービスや地域活動センター、訪問看護等を併用している方も多いです。併用する場合でも、リハセンターを利用する目的をしっかりと考え、自身の夢や希望を叶えるための場所にしていくと良いと思います。

プログラム紹介

生活充実型グループ

「エンジョイプログラム」

【活動曜日】 第1・2・5水曜日午前

【活動場所】 ミーティングルーム1・外など色々な場所

【活動内容】

その名の通り、「楽しむ」ことを第一目的に様々な活動をしています。

活動を通して趣味を探したり、視野が広がったり、他者と交流ができたりします。

メンバーさんと話し合って年間活動計画を立てています。昨年度は、散歩に行ったり、マスクケースを作ったり、料理をしたり、書道をしたりしました。今年度は染め物に挑戦したり、林檎ジャムを作ったり、ケーキを作ったりと、たくさん「楽しむ」ことを企画しております。一緒に活動していくメンバーさんも募集しております。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

*ホームページをぜひ、ご覧ください。

陕西病院 リハビリのご案内 検索

ろうけんTimes

老健委員会
紹介

在宅復帰④

入所中のリハビリを経て、目標をクリアすると、本格的に居宅へ戻る準備をします。退所する前にご家族や担当の居宅ケアマネ、各関係者に入所者様の様子を伝え、居住場所へご本人と一緒にいき、退所後の生活をイメージしていきます。

ご家族、居宅ケアマネ等と一緒に居住でのサービスの利用を検討したりサービスごとの役割を明確にし、居宅へ退所する準備を行います。

また、老健入所中は施設医が主治医となり、入所者様の病状管理を行います。退所後の主治医はかかりつけ医となります。施設医は入所者様の状況を紹介状等にて情報提供させていただくことで、かかりつけ医と共有します。入所者様の病状管理を滞らせることなく連携を図っていきます。

高齢者の自宅での生活は、何かちょっとしたことで、出来ないことが増えてしまうことがあります。お困り事や心配事のある方は、お気軽にご相談下さい。

今日の活動記録

3月10日 お花見会

今年もキレイに河津桜が咲きました!!
甘酒と一緒に花見です。ぽかぽか陽気で気持ちのよい天気よかったです!
みんないい笑顔で楽しまれました!



* 峡西老健のホームページも
ご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健
の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、須賀美保さんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：誤作動する脳

(作者：樋口直美／出版社：医学書院／出版年月日：2020年3月1日)

●読んだきっかけは？

脳に関する別の本を読んでいて、最後の本の紹介に載っていて気になっていたところ、本屋で見つけたから。

●おすすめのポイントは？

私たちは常にやるべきことを複数抱えながら生活している。私たちは膨大な情報を瞬時に判断し行動していることがほとんどで、無意識におこなっている。外部や内部の膨大な刺激を瞬時に処理し行動できるのは、脳がスーパーコンピューター以上の機能を果たしているから。その「脳」に何らかの支障が出た場合どうなるのか、私たちは外側から想像するだけである。脳の誤作動により起こる事象だけでなく、医師をはじめ周囲の人たちへの希望も書かれている。『脳の機能障害は、「見えない障害」なので、多種多様な困りごととも周囲から気づかれにくく、理解されにくいものです。』『私自身、自分にどういう障害があるかは、“何かできなかつたとき”に初めて気づくことです。』私たちが体験できない世界を体験できる1冊だと思います。

新入社員紹介

長澤 良太

介護支援相談員

(峡西老人保健センター)

◆趣味…シヨップピング

(ファッション)

◆好きな食べ物

…肉、カレー、パスタ

◆好きな色

…コバルトブルー

中村由美子

介護支援相談員

(峡西老人保健センター)

◆趣味…御朱印巡り

◆好きな食べ物…焼肉

◆特技…バレエボール

遠藤 陽子

作業療法士

(峡西老人保健センター)

◆趣味…推し活

◆好きな食べ物…甘い物

◆出身地…山形県

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 職業倫理

1. 患者の人格の尊厳と権利を尊重し、心のこもった対応をして信頼を得ること。
2. 最善の医療を提供するために、常に学術的知識と技術の習得に努めること。
3. 自らの義務と責任を自覚して人格を高めること。
4. 職場内外の医療専門職の権利を尊重すること。
5. 医療の公共性を重んじて地域社会に貢献するとともに、法規範を遵守すること。
6. 良質の医療を提供するために、自ら心身の健康保持と増進に努めること。
7. 精神障害者に対する理解を深め、精神障害者がある障害を克服して社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をしようとする努力に対して協力すること。

「私の夢」

私の夢の一つに、子どもと一緒に富士山に登ることがあります。わたし個人では今までに3回富士山へ登りました。夜に登った時は、たくさん流れ星がみられました。そしてその流れ星がいつもより近く感じ、とてもキレイだったことを覚えていています。

どの時も八合目辺りからなかなか足が進まなくなり：ちよつと進んでは休憩し、またちよつと進んでは休憩していた気がします。頂上が見えてもなかなかそこまで辿り着きませんでした(笑) だからこそやはり頂上まで登り切った時の達成感は一ひ



しおでした。その感覚を体験してはしくて子どもたちに「一緒に富士山に登らない？」と誘いました。子どもたちは喜び、登れることをとても楽しみにしています。

しかし、現在のわたしにはとてもそんな体力はありません。その為にはまずは体力作りをしないといけないと思います。富士山に向けて登山を始めました。急な斜面も鎖場も子どもたちは楽しそうにスイスイと登っていきま

す。子どもたちの心配はしていましたが、本当に心配しなきゃいけないのは自分自身が最近してきました。夢が叶えられるように頑張りたいと思います。

老健 楨

万華鏡

4月出逢いと、別れの季節である。

この4月に長男が新しい道へ進むため家を出てしまうのです……。すぐく淋しい別れのようにですが、別に山梨から出ることもなく1か月顔を見れないだけなのです。ですが、私にとってはまだ子離れできていないようで別れのカウ

ントダウンをしているのです。子供がいたから、仕事も頑張つてこれたし辛いことも乗り越えられた。ずっと子供を育ててきたと思っていました。子供と共に育ってきたのかもしれない。どこか仕事と子育てって似てませんか？

そう、『人材育成』です。子供に対して、こうなつて欲しいという気持ちで自分を律するようになり、親として成長していく。

仕事でも、上司が自分を律すること部下が育ち上司も成長できる。まだまだ自分にも足りない部分が多くありますが、共に成長していけたらより良いものを作り上げていけると思います。

あと一つ。私はお酒が好きです。仕事から帰ると、息子が「今日は仕事どうだった？」と聞きながらお酒を作ってくれます。またこれがちよつどいい濃さで、最高にうまい!! その息子がいい聞き手で、私のあれこれ聞いてくれて受け止めてくれます。

話を聴いてくれるこの心地の良さは、まさに自分の仕事で最も大切な事です。これから先も、この大好きな仕事を続けていきながら、息子の作ってくれるお酒を楽しみに頑張ります。

アスピール病棟 河西

こちら編集室

気が付けばもう2月も終わり、3月になってしまいました。この間、年明けしたと思ったのに：つて年を取る度、年々早くなって行く気がします。

3月になって、花粉が飛び始めたなどよくTVなど周りの人から聞くようになる季節です。私は、花粉症は今までなかったことがないので、花粉症の方の苦しみ分らないのですが：。痒くなつたり辛いと聞きます。

今年は、関東甲信は非常に多く飛び見込みらしいです。調べていると3月頃からスギ花粉が始まると思つていたら、2月の下旬から花粉シーズンスタートしているみたいです。正直、そんな早くから花粉シーズン到来しているとは、知りませんでした。

花粉飛散量は前年夏の気象条件が大きく影響するそうです。気温が高く、日照時間が多く、雨の少ない夏は花芽が多く形成され、翌春の飛散量が多くなるらしいです。

去年の夏はどうだったのか：。梅雨前線の活動が弱く、特に6月の降水量は西日本、太平洋側でかなり少なく、日照時間は東日本、日本海側、太平洋側でかなり多くなり、6月後半から7月上旬にかけて太平洋高気圧が強まり、東・西日本を中心に晴れて高温でした。

「高温・多照・少雨」と、スギの花芽形成に好条件となつてしまい、2023年は、多く飛ぶという結果になつてしまつたようです。

(N)

今月の予定 4月

- 3日 入社式・辞令交付式
- 3日 時間外研修
「令和5年度南山会
事業計画」
- 6日 新任者集合研修
- 13日 治療プログラム委員会
クリニカルパス委員会

今月の一枚

春になると、時々、居候がやって来ます。
不在の年には、ちよっぴり寂しくなります。
今年は来て、にぎやかにしてくれるかな？



おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

雪解けや『雪列車』 歌う昼下がり 石坂 克巳

桜さくベンチに座り茶の味は 今福 和人

入学式スマシ顔にて段の上 大森真知子

雪解けや富士の農鳥探す我 要

足早に見上げる桜和む朝 恵 風

ざわざわと水のひびきや雪解川 塚原 光明

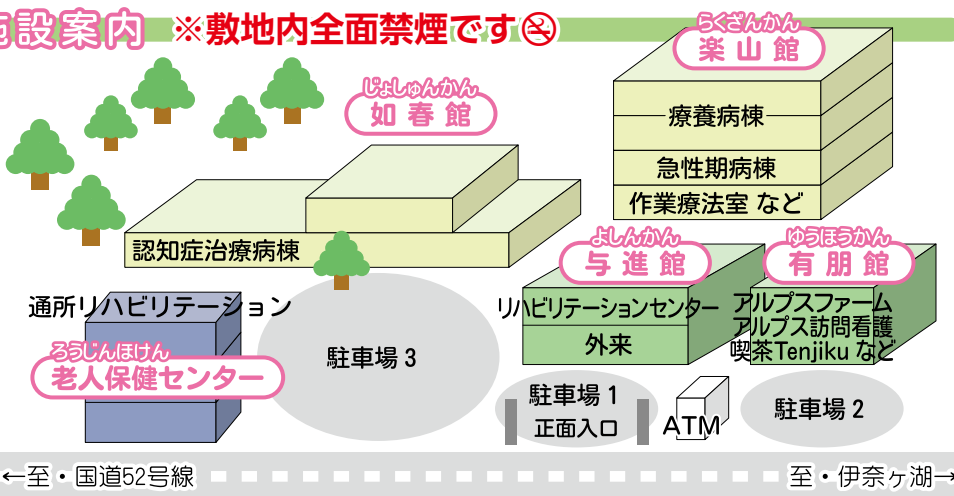
雪解や富士中腹に湖できる 保坂五十鈴

桜咲く天下の花道夢芝居 渡辺 あき

太陽の光に感謝しよう 渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です



交通案内

- JR中央線 甲府駅より車で40分
- JR身延線 東花輪駅より車で15分
- 中央高速 甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道 南アルプスICより車で5分
- 山交バス 甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鱒沢営業所行き (西野経由) 鱒沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第428号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL http://www.nan-zan.or.jp

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

中山貴、望月裕太、堀内園香、柴沙也佳、澤登祐弥、原京子、埜村麻美、柳沢真尋、保坂聡子、伊藤貴文

次回429号も お楽しみに!